

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **3市交流スポーツ大会開催事業**

[1019]

部名	教育部	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、パークゴルフ大会と家庭婦人スポーツ大会(バドミントン、卓球、バレーボール)を3市持ち回りで開催する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	市民	人			121,385	121,385
対象指標2						
活動指標1	大会数	大会			2	2
活動指標2						
成果指標1	市民の参加者数	人			163	150
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	140	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	401	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	541	0

費用内訳	
24年度	報償費 48千円、需用費 92千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象にパークゴルフ大会と家庭婦人スポーツ大会(バドミントン、卓球、バレーボール)を3市持ち回りで開催し、近隣市の地域住民がスポーツ大会を通して交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。交流事業は、平成6年より開始されており、これまでは厚別区が主体となり運営や経費負担を行っていたが、平成24年度からはこれを3市の持ち回り負担とした。	事業を取り巻く環境変化	
--------	---	-------------	--

24年度の実績による事業課の評価(7月時点)

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は?

江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業であり、スポーツ活動はもとより人的交流に資するものである。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか?

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は?

近隣市の市民が参加する大会の開催により、チームや競技者の交流がすすみ、スポーツ機会の充実・発展が図られる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか?計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか?

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は?

パークゴルフ大会、家庭婦人スポーツ交流大会を、3市持ち回りで、継続して実施している。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか?その理由は何ですか?

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は?

継続して大会を実施することにより、3市の競技者の交流が発展し、新たなスポーツ機会、組織の設立などが期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか?(受益者負担含む)

- ある
- ない

理由・
根拠は?

大会用品などの必要最小限の経費で実施している。